

病院ボランティアのご紹介

平成13年11月から病院ボランティアの方々の活動が始まりました。

小さな子供さんを抱っこし受診されるお母さんが、落ち着いて手続きできるようサポートする、タクシーで降りてこられる方が身体のご不自由な方であれば車椅子を…また時間があれば車椅子の空気入れ・点検、置き去りの車椅子の回収など、特に視力障害の患者様へは診察から帰院時のバス停まで誘導する、こまやかな活動を自主的にいただいています。患者様の中には、次回を受診日をボランティアに伝えて帰られる方もいらっしゃいます。人数はまだまだ少ないですが、心温まる活動をしていただき、今ではなくてはならない方々です。



子育てが終わり、時間的に余裕ができたならボランティア活動をした
いと思っていましたが、その一歩が踏み出せずにいました。そんなある日、「病院ボランティア募集」の記事が目にとまり、その一歩を今歩
み始めることになりました。

初めは病院の雰囲気さえわからない自分に患者様のお手伝いができる
だろうかと不安なスタートでしたが、今は病院を訪れるいろいろな
方々から声をかけていただき嬉しいかぎりです。今では、ボランティア
活動は私の生活の一部になりつつあります。

1F 病院玄関で活動中

満65歳で退職し何か身体を動かす方法を考えていた時、府立医大でボランティアの募集を知り参加する事になりました。最初はなかなか声をかけることが出来ず、また外来の場所を覚えるのに苦労し足が棒のようになり大変でした。

ボランティア活動は、まず、明るく「おはようございます」の一言から、患者様との関わりが始まると私は考えています。



車椅子の点検中



府立医科大学のボランティア活動が始まって1年あまりを経過しました。

以前、この病院で家族と私は、入院・手術と貴重な体験をし、大変お世話になりました。その時の感謝の気持ちと、現在さまざまな病
気と闘いながら病院に来られておられる方々の立場になって何か
お役に立てたらとの思いで、活動をしています。

これからも、多くの方との出会いを大切に、温かみを伝えられる
ボランティアでありたいと思っています。

自動再来受付機の御案内